

NEWS

反転攻勢へ

民主党は4月23日、政治改革推進本部の総会を開き、パーティー券の購入も含めた企業・団体献金を将来的に全面禁止する方針を確認しました。また、国会議員の子どもや配偶者が、同一選挙区から連続して立候補するいわゆる「世襲」を禁止する方針も確認しました。

これに先立ち、先週、民主党が党所属国会議員220人を対象に行った企業・団体献金禁止等に関するアンケートの結果も公表されました。企業・団体献金の禁止については、77.3%が賛成と回答し、企業・団体によるパーティー券購入の禁止についても67.3%が賛成しました。しかし、実施時期についてはばらつきがあります。「1年後」が30.8%で最も多く、次いで「3年後」が26.2%、「5年後」が19.2%との結果でした。私は10年にわたる政治生活の中でこれまで企業・団体から1円の献金を受け取ったこともなく、政治資金パーティーを開いたこともありません。企業・団体献金を受けなくともやっていけることは実証済みです。「即時」に実行でき、またそうすべきなのです。企業・団体献金禁止の流れを確実にするため私が中心となり20人の民主党国会議員を発起人として募り、「即時に、企業・団体の寄附及びパーティー券購入を全て禁止する。」こと「同時に、個人の寄附の普及促進のため、現在認められている優遇措置に加えて、一定額までの寄附について全額を税額控除の対象とする。」ことを内容とする意見書を民主党政治改革推進本部に提出しました。

◆総選挙の争点に!

政治家は企業・団体から政治献金やパーティー券の購入の形で、利益を受け取ります。また、企業・団体は集票マシンとしても活動します。見返りに政治家、特に国の政策を決定できる立場にある与党議員は、特定の企業・団体にうまみのある政策を実行します。このため本来必要のない無駄な事業に予算がつけられることとなります。結果として、我が国は国と地方併せて1000兆円を超す世界に類を見ない借金大国になってしまったのです。この政治構造を根本的に打破するには、企業・団体・献金や、パーティー券購入を禁止する以外にありません。これまでもロッキード事件や、リクルート事件など政治家と利益にまつわる不祥事が明るみに出るたびに、企業・団体献金のあり方が問題となり、政治資金規正法の改正等が行われてきました。しかし、企業・団体献金の禁止は、政官業癒着の権力構造をよりどころに政権を維持してきた自民党には到底呑めない考え方です。企業・団体は現行法でも議員の政治団体に寄附できないことになっていますが、政党支部を迂回しての献金は可能であり「ザル法」もいいところです。自民党が国会の多数派である限り、実効性ある法改正は期待できません。この状況の本気で変えるのであれば「企業・団体献金の全面禁止」を、来るべき総選挙の大きな争点として掲げ、国民に信を問い、政権交代を実現させる以外にありません。(了)



まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年会費(個人献金)のみによって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所
0742 (40) 5531

www.mabuti.net

まぶちの「不易塾日記」好評連載中

「まぶち会」 についてのご案内

会の名称：「まぶち会」
 (政治資金管理団体に同じ)・
 会費：年会費(一口)10,000円
 期間：一年間(政治献金)



◆後援会「まぶち会」とは

「まぶち会」には、二つの目的があります。一つは、私を応援して下さる皆様が一つになれる場所を提供すること。もう一つは、「一円たりとも企業献金を受けない」という信念の私の政治活動を「まぶち会」に入会していただき年会費(政治献金)で支えていただくことです。

私は「同じ目線」ということにこだわってきました。「まぶち会」は、後援会長を頂点とした従来の政治家のピラミッド型の後援会組織とは異なる、フラットなネットワーク型の新しい組織形態と活動を目指しています。ぜひ、皆様の入会をお待ちしております。

入会のお申込、詳しいお問い合わせは まぶちすみお後援会事務所

TEL 0742(40)5531 までお願いいたします。

スタッフ日記

横顔の思い出

月曜日の早朝、代議士の声が奈良学園前の駅頭に響き渡ります。声は時に大きく、時に小さく、波のように、足早に改札へ向かう人々に語りかけます。駅頭のバスターミナルには数分おきにバスが着き、マイクを持つ手に器用にまぶちNewsの束をはさみながら、押し寄せる人の波に向い懸命に訴えかけるまぶちすみお。その声を背に僕達スタッフや、季節によってはインターンの学生やボランティアの方がまぶちNewsを一人一人に声をかけながら配り続けます。衆議院選挙にはじめて挑戦して以来、変わらない月曜の朝の光景です。ずいぶん昔「まぶちすみお」が単なる(予定)候補者で世間の人々の誰もが知らず、親しく語りかけられることも、

ほとんどなかったころ、毎週必ず演説の声が止まる瞬間がありました。「あれっ」そう思って振り返ると、一人の女性が代議士を見上げながら懸命に話しかけています。その人は代議士の知り合いなのか、遠目にも話しかけていることは僕にも感じられます。代議士の表情は少し戸惑いながらもその人の事を瞬間、懸命に受け止めようとしている。数分会話が続きそのあと何事もなかったかのようにまた朝の演説が続きます。焦りと苦悩の中、初当選に向けてひたすら前しか見ていなかった頃の、なぜか僕が一番優しい気持ちになれた代議士の横顔の思い出です。

(チュー)

週間活動報告

- 18 土 帰奈、支持者懇談3件、橋本町街頭演説、うり開業2周年記念
- 19 日 7-ステイ奈良2009、奈良自閉症協会総会、ボ-イカトわかくさ地区総会、挨拶回り、支持者面談
- 20 月 あやめ池街頭演説、挨拶回り、上京
- 21 火 外務防衛・内閣・国土交通部門合同会議、代議士会、本会議、【V取材】テレビ朝日「スーパーJチャンネル」、地盤工学会77号-5懇談会講演
- 22 水 新政権研究会、MBS三澤記者挨拶、企業献金禁止申し入れ打合せ、沖縄科学技術大学院大学調査チーム
- 23 木 安全保障委員会、支持者国会見学昼食・写真撮影、代議士会、本会議、新チーム絶好調!
- 24 金 謹聴会、国土交通部門会議、週刊FLASH、予算委員会質疑準備

衆議院
議員

馬淵澄夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：
office@mabuti.net

国会
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院 第1議員会館 437号室
TEL 03(3508)7137 FAX 03(3506)3572

奈良
事務所

まぶちすみお後援会(まぶち会)
〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F
TEL 0742(40)5531 FAX 0742(40)5532